

令和5年4月28日

放課後児童健全育成事業所
特別支援学校はまっ子ふれあいスクール
運営法人及び運営主体 各位

令和5年度 横浜市放課後児童育成事業人材育成研修のご案内

【年間スケジュール（予定）】

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今年度の「横浜市放課後児童育成事業人材育成研修」につきましては、私ども「公益財団法人よこはまユース」が担うことになりましたので、よろしく願いいたします。さて、今年度開催予定の講座一覧を別添にてお送りいたします。詳細（日程・申込方法等）につきましては、開催日の概ね1か月前までにご案内いたします。

【研修申込み方法】

昨年度に引き続き、WEBシステム（研修管理システム Leaf リーフ、以下リーフ）にてお申し込みいただきます。

昨年度一度お申し込んだ方は、「ID（個人メールアドレス）」を継続してご使用いただけます。

昨年度受講していない方が、研修をお申し込みいただく場合は、一人ずつ「ID（個人メールアドレス）」の登録が必要です。リーフの登録・申込方法は、研修開催の通知と併せてお知らせいたします

【オンラインでの開催について】

今年度も引き続き、講義形式の講座を中心に、いくつかの講座をオンライン（ライブ形式または、オンデマンド形式）で開催する予定です。

【受講にあたって】

新型コロナウイルス感染症拡大防止へのご理解・ご協力をお願いいたします。発熱等、体調がすぐれない際の受講はお控えください。引き続き国や横浜市の感染症対策のガイドラインに沿い、研修の運営を行います。感染状況によっては、横浜市所管課・講師等と協議のうえ、受講人数の制限や、中止または延期させていただく場合がございますので、あらかじめお含みおきください。

【研修の中止】

研修当日午前6時の時点で、横浜市に「暴風警報」「大雪警報」「特別警報」が発表されている場合は、研修を中止いたします。

【送付資料】

研修項目一覧（年間スケジュール）

【お問い合わせ】 公益財団法人 よこはまユース／キッズ運営課

「横浜市放課後児童育成事業人材育成研修」担当

Tel. : 045 (662) 7646 (受付時間: 月~金、9時~17時)

Fax. : 045 (662) 7645

Eメール: houkago@yokohama-youth.jp



令和5年度放課後児童育成事業人材育成研修 研修項目(予定)

講座名	時期(目安)	定員(人)	時間	講師の条件	形式	内容・備考
現場職員向け講座						
1 放課後児童健全育成事業及び子どもの理解						
こどもの人権	6~7月	130~200	2.0	小学校関係者(教職員、学校カウンセラー等)で、学齢期の児童のいじめに関して知識・経験を有する人材	講義	こどもの権利・人権尊重 こどもが考えている相手の価値観 こどもの人権に配慮した支援員としての役割
<対象:支援員Ⅱ・Ⅲ、補助員Ⅱ> こどもの人権【応用編】	11~12月	130~200	2.0	小学校関係者(教職員、学校カウンセラー等)で、学齢期の児童のいじめに関して知識・経験を有する人材	講義・グループワーク	いじめや虐待を見つけた時の対応 保護者との関わり 子どもへの声かけ事例共有
児童虐待の防止と対応	9~12月 (期間内に2回実施)	各回 130~200	2.0 2.0	小学校関係者(児童相談所職員等)で、学齢期の児童の虐待に関して知識・経験を有する人材	講義	児童虐待に関する法の理解 児童虐待を把握した際の対応
子どもの発達理解【基礎編】	6~7月 11~2月	各回 130~200	2.0 2.0	学齢期の児童の発達心理に関する専門家	講義	幼児期から思春期までの定型発達とそれに応じた援助 発達段階から見える各年齢ごとの課題 思春期の児童の発達心理 性的問題への対応方法(第二次的徴期・成長期の特徴)
<対象:支援員Ⅱ・Ⅲ、補助員Ⅱ> 子どもの発達理解【応用編】	6~7月 9~10月 1~2月	各回30~60	2.0 2.0 2.0	学齢期の児童の発達心理に関する専門家	講義・グループワーク	思春期を迎える児童への対応方法 各事業での事例を基に受講者同士での事例検討・考え方の共有
児童健全育成論	9~10月	60~100	2.0	児童の健全育成に関する知識・経験を有する人材	講義	健全育成の理念・具体的内容 現代の子どもの課題 健全育成上の放課後の意義
2 事業所における子どもの育成支援						
子どもへの対応	6~7月	30~60	2.0	児童との関わりやコミュニケーション方法について知識・経験を有する人材	講義・グループワーク	叩くことや暴言がなぜよくないのか 怒らない子育て支援
<対象:支援員Ⅱ・Ⅲ、補助員Ⅱ> 子どもへの対応【応用編】	9~10月 (期間内に2回実施) 11~2月 (期間内に3回実施)	各回30~60 各回30~60	2.0 2.0 2.0 2.0	児童との関わりやコミュニケーション方法について知識・経験を有する人材	講義・グループワーク	児童への寄り添い方、向き合い方 効果的な声掛け等の工夫 子どもへの対応の現状・課題の事例共有
外国につながる児童の支援	1~2月	30~60	2.0	横浜市教育委員会指導主事で、外国につながる児童の支援について指導できる人材	講義・グループワーク	外国につながる児童との関わり方 課題の事例共有
遊びの技術(室外編)【講義】	6~7月 11~12月	各回 60~100	2.0 2.0	横浜市教育委員会指導主事で、公園や校庭、体育館における学齢期児童の集団遊びの技術を指導できる人材	講義	子どもの運動発達 比較的広い場所・大人数での遊びの導入方法
<対象:支援員Ⅱ・Ⅲ、補助員Ⅱ> 遊びの技術(室外編)【実技】	11~12月	60~100	2.0	横浜市教育委員会指導主事で、公園や校庭、体育館における学齢期児童の集団遊びの技術を指導できる人材	講義・実技	比較的広い場所・大人数での遊びの導入方法 各事業所での遊び方の共有 具体的な遊びの提案
遊びの技術(室内編)【講義】	9~10月 11~12月	各回 60~100	2.0 2.0	室内における学齢期児童の集団遊びの技術を指導できる人材	講義	子どもの運動発達 比較的狭い場所・少人数での遊びの導入方法
<対象:支援員Ⅱ・Ⅲ、補助員Ⅱ> 遊びの技術(室内編)【実技】	11~12月	60~100	2.0	室内における学齢期児童の集団遊びの技術を指導できる人材	講義・実技	比較的狭い場所・少人数での遊びの導入方法 各事業所での遊び方の共有 具体的な遊びの提案
プログラムの企画と運営	1~2月	30~60	2.0	児童が参加するプログラムの企画・運営の知識・経験を有する人材	講義・グループワーク	プログラムの企画・運営方法 児童に対する、プログラム参加の動機付けや関わり方
表現活動(作品づくり)	1~2月	60~100	2.0	学齢期児童の工作・絵描きを通じた表現活動を指導できる人材	講義・実技	身近なもので作れるモノ 工作・絵描き等を通じて表現方法を学ぶ
表現活動 (こどもの社会的スキル)	1~2月	60~100	2.0	横浜市教育委員会指導主事で、横浜プログラムについて知識を有する人材	講義・実技	横浜プログラムの理解 横浜プログラムを実践・体感による社会的スキルの理解

令和5年度放課後児童育成事業人材育成研修 研修項目(予定)

講座名	時期(目安)	定員(人)	時間	講師の条件	形式	内容・備考
3 障害のある子ども・医療的ケア児の育成支援						
障害への理解【基礎編】	9～12月 (期間内に2回実施)	各回 60～ 100	2.0	障害の種類や対応例に詳しい療育専門機関等の職員	講義	発達障害および自閉症についての理解 具体的な支援方法
			2.0		講義	
<対象:支援員Ⅱ・Ⅲ、補助員Ⅱ> 障害への理解【応用編】	9～2月 (期間内に3回実施)	各回 30～60	2.0	障害の種類や対応例に詳しい療育専門機関等の職員	講義・グループワーク	環境調整が必要な児童についての理解 具体的な支援方法 事業所における対応の事例検討
			2.0		講義・グループワーク	
			2.0		講義・グループワーク	
医療的ケア基礎研修	9～2月	30～60	2.0	医療的ケアに関する知識・経験を有する人材	講義	児童に係る医療的ケアの基礎的知識 医療的ケア児の受入れ・支援
4 事業所における安全・安心への対応						
事業所の衛生管理	6～7月	各回 130～ 200	2.0	学齢期の児童の健康に関する専門家	講義	活動場所における感染症(新型コロナウイルス・ノロウイルス・インフルエンザ等)対策
	9～10月		2.0			
おやつ (栄養管理、衛生管理)	11～12月	130～ 200	2.0	おやつに詳しい栄養士または食品衛生管理の専門家	講義	学齢期の子ども発育とおやつ おやつ調理時の衛生管理で注意する点 市販品を使ったおやつ提供について
アレルギーへの対応	6～7月	各回 130～ 200	2.0	みなと赤十字病院 アレルギーセンター医師	講義・ 実技	アレルギー全般についての基礎知識 アレルギー事故を防止するための対応方法 エビベン使用方法
事故・けがの予防と事後対応	6～7月	130～ 200	2.0	横浜市教育委員会指導主事、健康教育や学校安全について知識を有する人材	講義	事業所における事故・けがの予防方法 事故発生時の応急対応等
心肺蘇生法	6～7月 (期間内に3回実施)	各回 20～40	2.0	日本赤十字社神奈川県支部の講師	実技	こどもの心肺蘇生法、AEDの使い方等
			2.0		実技	
			2.0		実技	
	9～10月 (期間内に2回実施)		2.0		実技	
			2.0		実技	
			2.0		実技	
応急処置法	6～7月 (期間内に3回実施)	各回 20～40	2.0	日本赤十字社神奈川県支部の講師	実技	学齢期児童に多く見られる事故の特徴、 事故防止のポイント、手当の仕方等
			2.0		実技	
			2.0		実技	
	9～10月 (期間内に2回実施)		2.0		実技	
			2.0		実技	
			2.0		実技	
防犯	9～10月	130～ 200	2.0	警察関係者または防犯に関する研修を実施している団体の職員	講義・ 実技	事業所内での子どもの安全対策 不審者侵入時の対応シミュレーション 防犯訓練の方法や実施内容
防災(風水害対策講話)	6～7月 (期間内に2回実施)	各回 50～60	2.0	横浜市民防災センターの講師	講義・ 体験	風水害発生時の基本的対応のシミュレーション・体験 災害時の行動・情報収集等の防災講話
			2.0			
防災(地震対策講話)	10～11月 (期間内に2回実施)	各回 50～60	2.0	横浜市民防災センターの講師	講義・ 体験	地震発生時の基本的対応のシミュレーション・体験 災害時の行動・情報収集等の防災講話
			2.0			

令和5年度放課後児童育成事業人材育成研修 研修項目(予定)

講座名	時期(目安)	定員(人)	時間	講師の条件	形式	内容・備考
5 事業所における保護者・学校・地域との連携・協力						
保護者との関わり・連携	11～12月	30～60	2.0	保護者連携が活発な放課後キッズクラブ・放課後児童クラブの職員等	講義・グループワーク	パートナーシップ構築のため保護者とコミュニケーションをとる際に大切にすること、心がけること 保護者と連携した児童育成の方法
【児童クラブ対象】 学校との関わり・連携	1～2月	30～60	2.0	放課後児童クラブとの連携が活発な小学校の校長、教諭等	講義・グループワーク	小学校の概要理解 放課後児童クラブと学校が連携する意義 学校とつながりを持ち、相互理解を深める手法
【キッズクラブ・はまっ子対象】 学校との関わり・連携	1～2月	30～60	2.0	学校との連携が活発な放課後キッズクラブのスタッフ・放課後児童クラブの職員等	講義・グループワーク	パートナーシップ構築のため学校関係者とのコミュニケーションの際に大切にすること 学校と連携した活動の事例紹介
【キッズクラブ・はまっ子対象】 地域との関わり・連携	1～2月	30～60	2.0	地域連携に詳しい人材	講義・グループワーク	地域とつながる意義
6 事業所の運営						
職員のメンタルヘルス・セルフケア	9～10月	各回 60～ 100	2.0	メンタルヘルスクアの知識・経験を有する人材	講義・実技	ストレスの要因・対処方法 感情のコントロール方法 ポジティブシンキング
	1～2月		2.0			
感情のセルフコントロール	9～10月	30～60	2.0	アンガーマネジメントに関する知識・経験を有する人材	講義・グループワーク	アンガーマネジメント 感情のセルフコントロール方法 適切な言葉の伝え方、良好な人間関係の構築
事業所の人材育成・マネジメント	11～12月	130～200	2.0	職場における人材育成やマネジメントについて知識・経験を有する人材	講義	目標設定の意義 職場の環境づくり 職場のコミュニケーション 離職防止について
運営主体向け講座(オンデマンド形式)						
防災	9月配信	—	1.0	横浜市民防災センターの講師または地域防災や危機管理を担当する市職員等	講義	運営主体が行う防災対策について

運営主体向け研修は、事業所職員も受講可能です。ただし、キャリアアップ研修の対象外となりますのでご注意ください。